

# 当院で乳癌術後放射線治療を受けた後、乳房再建を行った患者さんへ

2020年9月21日作成 Ver.2

## 放射線照射後の乳房再建症例における術後合併症に関する研究

下記の臨床研究を京都大学大学院医学研究科・医学部および医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施しています。本研究の対象者に該当する方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は解析から削除しますので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

### 1. 研究の目的・意義

乳房再建は乳癌術後の整容性向上を目指した手技として行われており、術後合併症の有無は整容性満足度に非常に大きな影響を与えるため、術後合併症を極力避ける必要があります。乳癌術後に放射線照射をおこなった患者さんには乳房再建における合併症リスクが高いと言われています。これまでの発表は海外のデータが主であり、日本人を対象としたデータは少ないです。当院で行われた乳房再建症例のうち、放射線照射が行われた症例について、合併症の有無や症例の経過を観察する目的にしています。

### 2. 研究機関、研究責任者

鈴木栄治 京都大学医学部附属病院 乳腺外科 准教授

### 3. 研究実施期間

実施期間:承認日から2年間

### 4. 対象となる患者さん

2014年1月から2019年12月までの間に京都大学医学部附属病院乳腺外科に通院中であり、形成外科にて乳房再建術をおこなった患者さん

### 5. 研究の方法

2014年1月から2019年12月までの診療記録および乳房再建前後の写真を利用します。

#### 利用する情報の項目

- ・手術時の年齢、手術部位の写真(首下から腹部まで)
- ・放射線照射部位および照射量、照射理由(再発、部分切除後など)
- ・乳癌手術から放射線照射までの期間、放射線照射から乳房再建手術までの期間
- ・合併症の有無とその内容、合併症に対する対応

### 6. 情報管理責任者

中川梨恵 京都大学医学部附属病院 乳腺外科 医員

### 7. 研究資金、利益相反について

本研究は研究資金の提供を受けておりません。研究は運営費交付金で実施しております。利益相反について、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規定」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査・管理されています。

### 8. 研究責任者およびお問合せ先

鈴木栄治

京都大学大学院医学研究科 乳腺外科学 准教授

〒606-8507 京都府京都市左京区聖護院川原町 54

TEL:075-751-3660 FAX:075-751-3616

(E-mail) [ejjis@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:ejjis@kuhp.kyoto-u.ac.jp)

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

TEL:075-751-4748 (E-mail) [ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp)